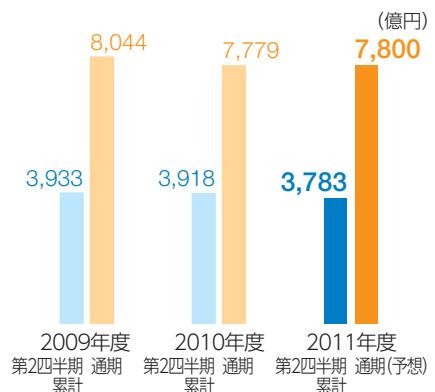


財務ハイライト

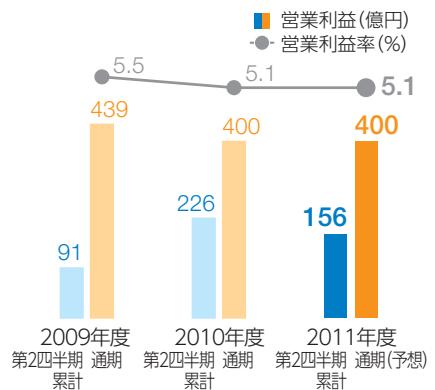
売上高

情報機器事業がほぼ前年並みだったのに対して、オプト事業の一部製品やヘルスケア事業で減収となりました。為替換算による減収影響140億円も受けたことにより、売上高は前年同期比3.4%減の3,783億円となりました。



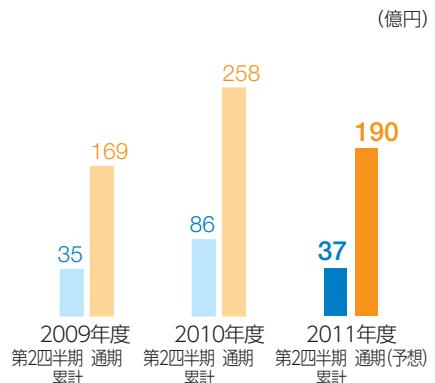
営業利益

情報機器事業やオプト事業の主力製品の好調な販売によって、第2四半期の利益水準は前年並みに回復しましたが、震災に起因した販売機会ロスなどによる第1四半期の減益をカバーするまでには至りませんでした。これらの結果、営業利益は、前年同期比31.0%減の156億円となりました。



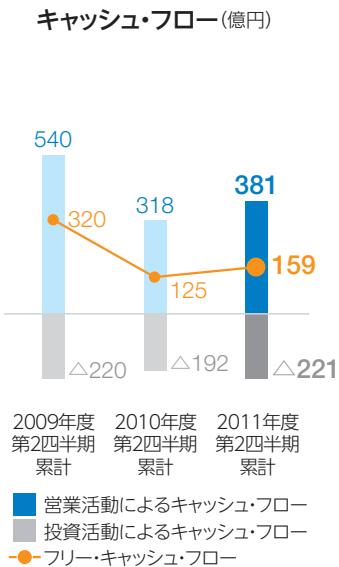
四半期純利益

営業利益の減少に加えて、前年同様に為替差損や投資有価証券評価損の計上が続いたこともあり、四半期純利益は、前年同期比56.6%減の37億円となりました。

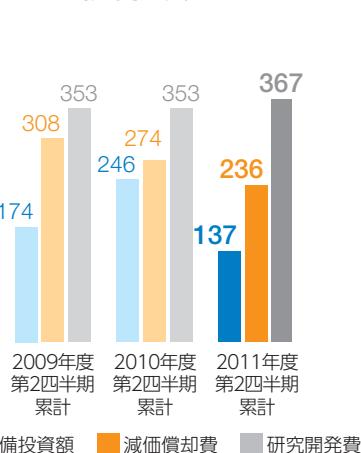


※ 第2四半期累計期間: 4月~9月

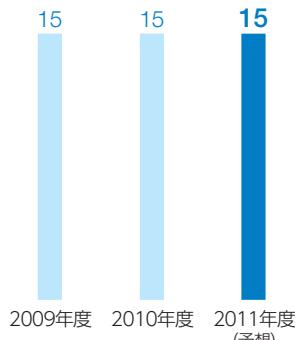
キャッシュ・フロー(億円)



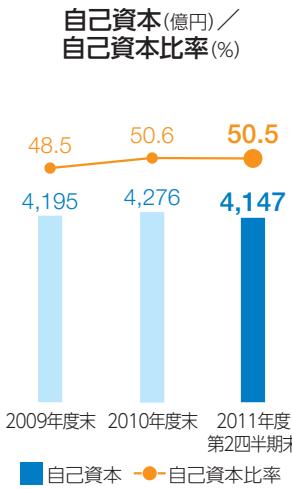
設備投資額／減価償却費／研究開発費(億円)



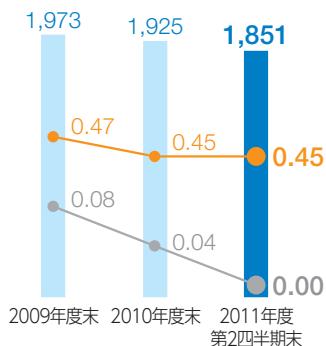
1株あたり配当金(円)



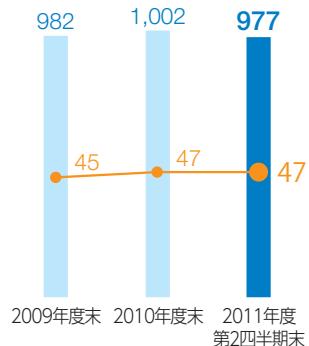
自己資本(億円)／自己資本比率(%)



有利子負債残高(億円)／D/Eレシオ(倍)／ネットD/Eレシオ(倍)



たな卸資産(億円)／たな卸資産回転日数



※自己資本=期末株主資本+その他の包括利益累計額

※自己資本比率=自己資本/期末総資産

※D/Eレシオ=期末有利子負債/自己資本

※ネットD/Eレシオ=(期末有利子負債-

手元資金)/自己資本

※たな卸資産回転日数=期末たな卸資産/1日あたり売上高(累計)